

## 生涯現役・いつまでも幸せに暮らし輝くまち藤枝プラン

### 取組のあらまし

取組団体 静岡県藤枝市

取組内容 「活躍のまち」、「暮らしのまち」、「コミュニティのまち」の3つの分野を柱に、ICT・デジタル活用や大学連携などのプラットフォームの連携や多種他分野と連携することで全世代型の循環モデルを創出し、持続可能な「藤枝型共生のまちづくり」を推進。

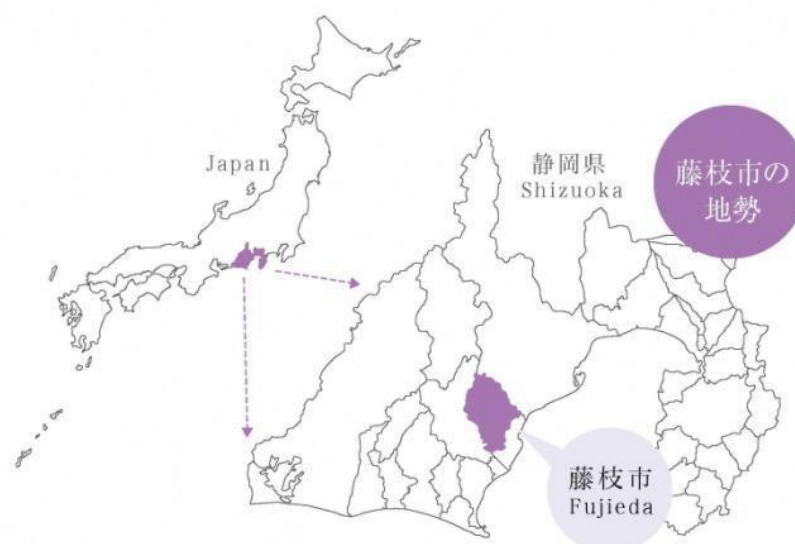
推進体制 10名（令和6年度）

予算等 29,456千円（令和6年度）

### 1 静岡県藤枝市の概要

人口	139,870人	令和7年1月1日現在（住民基本台帳人口）
職員数	628人	令和7年4月1日現在（一般行政部門）
総面積	194.06 km <sup>2</sup>	令和7年10月1日現在（国土地理院「全国都道府県市区町村別面積調」）

図表 1 藤枝市



出所：藤枝市ホームページ

## 2 取組の背景・目的

### (1) 取組の背景

藤枝市では、中心市街地周辺に人口が集中する一方、市域の7割を中山間地域が占め、特に旧藤枝宿を起源とする旧市街地から離れた山間部では近年急速に人口減少・高齢化が進んでおり、主要地域の一つ瀬戸谷地区では高齢化率が40%を超える。また、中山間地域の多くが日常の買い物に車で往復1時間以上を要するなど、自家用車がないと不便な状況にある。

藤枝市では、こうした中山間地域におけるコミュニティ維持の問題に直面する中で、政府が推進する「生涯活躍のまち（日本版 CCRC）」に呼応し、2019年度から高齢者の社会参加に着目した第1期の取組として「藤枝版コンパクト+ネットワーク型 CCRC 高齢者が活躍するまちづくり」（令和元年～3年度）を開始した。しかしながら、開始直後に新型コロナウイルス感染症の流行が直撃し、地域イベントや多世代交流事業が中止となるなど、計画推進に大きな打撃を受けた。

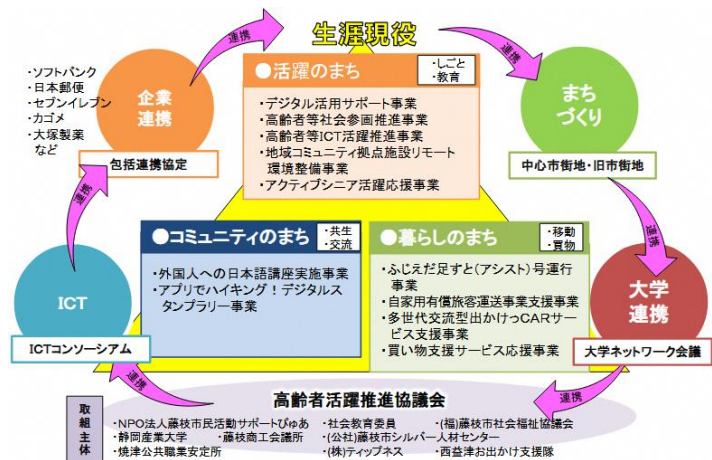
このような状況変化や前計画で顕在化した課題（地域の担い手不足、高齢者の移動手段の確保、デジタル化への対応等）に対応すべく、新たに策定されたのが「生涯現役・いつまでも幸せに暮らし輝くまち藤枝プラン」である。

### (2) 取組の全体像

本プランは令和4年3月に地域再生計画として国の認定を受け（計画期間：令和4～6年度）、内閣府のデジタル田園都市国家構想推進交付金の活用により実施された。「市民の誰もが生涯現役でいつまでも自分らしく幸せに輝き暮らせるまち」の実現を目指し、藤枝市独自の産学官プラットフォームを駆使して多分野を連携させた「藤枝型共生のまちづくり」を推進する点に特徴がある。

具体的には、(1)誰一人取り残さないデジタル化(DX)推進による多世代の活躍支援、(2)支え支えられる関係づくりによる移動手段の確保と暮らしやすい地域づくり、(3)多文化・多世代共生の地域コミュニティ創造、の三本柱を掲げている。これら三分野それぞれの施策を有機的に結び付けて展開することで、地域内で世代や分野が循環し支え合う持続可能な「生涯活躍のまち」の実現を目指している。

図表 2 藤枝プランの構成



出所：内閣府地方創生推進事務局資料

### 3 取組内容

#### (1) 「活躍のまち」に向けた取組

「活躍のまち」分野では、高齢者をはじめ市民一人ひとりが生きがいや役割を持っていきいきと活躍できる環境づくりに焦点が当てられている。高齢者のデジタルデバイドを解消する取組では、市内の公共施設にデジタル支援員を配置し、スマートフォンの使い方相談や講習会を開催するなど、身近な場で誰もがデジタル機器を使えるよう支援している。

また、高齢者等の社会参画を推進するため、令和4年に「藤枝市民大学」を創設し、大学との連携のもとシニア世代を含む幅広い世代の多様なニーズに沿った教養講座、地域学講座を開講した。加えて、地域で活躍する人材育成のため、ドローン操作やオンライン会議の主催方法など高度 ICT スキルを学べる複数回コースも企画し、意欲ある高齢者がより専門的な知識・技術を習得できる場も提供している。また中山間地域の各交流センター等にはリモート会議・講座が可能な機器を整備し、地理的に離れた場所でもシニアが地域活動や生涯学習に参加できるよう支援を行っている。

さらに、55歳以上のアクティブシニアとシニア採用に積極的な地元企業とのマッチング就職相談会や、熟練職人が技を披露して老若男女がものづくり体験をできるイベントも開催され、シニア世代の活躍の場創出と地域産業の担い手確保に寄与している。

#### (2) 「暮らしのまち」に向けた取組

「暮らしのまち」分野では、高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けられる環境づくりを目指し、移動支援を中心とした取組を展開している。藤枝市ではすでに令和元年度から、高齢者の外出を地域住民が支え合う仕組み「地域支え合い出かけっ CAR サービス」をスタートさせ、現在までに市内6地区で住民ボランティアによる送迎サービスが実施されている。現状、地域の協力により運転ボランティアが活動を支えており、この活動は地域のつながりを深める大切な役割を果たしている。今後は、担い手の高齢化も想定され、世代を超えた参加を促しながら、活動をさらに広げていくことが求められる。

また、令和4年度には、高齢者の社会参画に伴う移動ニーズに対応するため、市が主体となって運行するデマンドバス「ふじえだ足すと号」の運行を開始した。これは、自力で運転することができず、かつ、家族の支援や公共交通の利用が難しい高齢者等が、サロン・居場所・会食会等の通いの場へ出かけることができるよう予約式の小型バスでドア・ツー・ドアの移動サービスを提供するものである。このデマンドバスは、通いの場を運営する地域団体と連携して運行しており、高齢者の外出促進及び社会参画機会増加の観点から介護予防に寄与するとして期待も集まっている。

そのほか、本プランでは自家用有償旅客運送の制度を活用して民間事業者や NPO 等が高齢者・障害者の移動支援サービスに乗り出す場合の支援策や、買い物支援に取り組む企業・商店街への支援策も用意し、地域ぐるみで高齢者の日常生活を支える体制づくりを進めている。

図表 3 地域支え合い出かけっ CAR サービス（左）とふじえだ足すと号（右）



出所：藤枝市 HP

(3) 「コミュニティのまち」に向けた取組

「コミュニティのまち」分野では、多世代・多文化の交流を通じて地域コミュニティを活性化し、誰も孤立しない共生社会を築くことを目指す。具体的な施策として、大人から子どもまで様々な世代が気軽に集い交流できる拠点づくりが挙げられる。

近年、新たなまちづくりの機運が高まっている旧東海道藤枝宿エリアにおいて、世代間交流の拠点となる施設を創出し、地域団体によるコミュニティ活動を支援する取組が進められている。また、中山間地域では地域資源である日本三大玉露「朝比奈玉露」や里山の竹林などを活用し、茶業による地域の自立を目指すモデル事業を展開している。具体的には、熟練の茶農家が高齢者や若者・子どもに茶の栽培や製茶の技術を伝承し、地域内外の人々が茶畑で交流する場を設けることで、地域コミュニティの再生と多文化共生を図るものである。

また、外国人との共生も注力されている。外国人住民向けの日本語教室を定期開催し、言語面のサポートとともに生活習慣や文化を伝える機会を提供している。

加えて、スマホのGPS機能を利用した「ハイキングデジタルスタンプラリー」を実施し、アクティブシニアなどの健康寿命を増進させるとともに、地域内外の交流を促進する機会となっている。

図表 4 外国人のための日本語講座プログラム

2025～2026 藤枝市 日本語講座 日程表

ふじえだし にほんごこうざ についてひょう  
 場所：藤枝市 文化センター 3階 会議室  
 (電話 054-641-1111)  
 時間：19:00～20:30

だいいっ 第1期 (16回)	2025年 4月				5月				6月				7月				
	5	12	19	26	3	10	17	24	31	7	14	21	28	5	12	19	26
* 5月3日はおやすみです																	
だいに 第2期 (17回)	8月				9月				10月				11月				
	2	9	16	23	30	6	13	20	27	4	11	18	25	1	8	15	22
* 8月16日はおやすみです																	
だいたん 第3期 (15回)	12月				2026年1月				2月				3月				
	6	13	20	27	3	10	17	24	31	7	14	21	28	7	14	21	28
* 12月27日、1月3日はおやすみです																	

出所：藤枝市 HP

#### （4）取組の推進体制

藤枝市の生涯活躍のまちづくりは、行政だけでなく産学官民の幅広い協働に支えられている。市は既存の「藤枝 ICT コンソーシアム」や「藤枝産学官連携推進協議会」「藤枝市大学ネットワーク会議」といったプラットフォームを活用し、企業や大学、NPO 等との連携体制を整備してきた。本プランでもその強みを生かし、官民共同で事業を検討・推進する場として「高齢者活躍推進協議会」を設置した。同協議会には市の担当部署のほか、NPO 法人藤枝市民活動サポートセンター「ぴゅあ」、藤枝市社会福祉協議会、藤枝商工会議所、（公社）藤枝市シルバー人材センター、静岡産業大学、社会教育委員など地域の多様な関係者が参画し、それぞれの立場から生涯現役社会の実現に向けた知見や人的資源を出し合い、推進体制を構築した。

また藤枝市は包括連携協定を通じた企業連携にも積極的であり、ICT 分野のソフトバンク株式会社、物流見守りサービスの日本郵便株式会社、買い物支援の株式会社セブン-イレブン、健康づくりのカゴメ株式会社、大塚製薬株式会社など多彩な民間企業と官民連携のもと事業を推進している。

## 4 成果・課題

### （1）成果

本プラン開始後の高齢者等の社会参画のための講座には延べ約 2,000 人が参加し、当初目標（440 人）を大きく上回る成果を上げている。また、デジタル支援員の配置や講座開催によって、高齢者のデジタル端末利用への抵抗感が和らぎつつあり、「スマホを使って家族と連絡ができるようになった」「オンラインで趣味の集まりに参加できた」などの声も聞かれる。市民大学講座や就職相談会を通じて、退職後に再び地域で働きたいと考えるシニアと人手不足に悩む地元企業とのマッチング機会が創出され、新たに就労を始めた高齢者も現れている。

暮らしの面では、出かけ CAR の活動エリアが近隣のスーパーマーケットやドラッグストアのほか、一部地区では通院や地域のサロン等への送迎も加わり拡大傾向にあり、外出が困難だった高齢者の社会参加の裾野が拡大したといえる。デマンド型の足すと号も外出が困難だった高齢者がサロン活動に参加できるようになる等、社会参加を促進しており、利用者からは「通いの場へ気軽に出かけられるのは嬉しい」といった声があがる利用需要の高い移動支援サービスとなっている。

コミュニティ分野では、外国人住民向けの日本語教室やデジタルスタンプラリーの実施によって、多文化・世代間の交流イベントが増加し、コロナ禍で希薄化した地域の繋がりが回復しつつある。また、茶業を媒介とした里山地域の取組は、地域住民だけでなく都市部からの参加者も呼び込んでおり、高齢者の生きがいづくりと、地域経済の活性化の両立に繋がっている。

## （2）課題

本プランの取組を持続的に発展させるには、地域の担い手不足という根源的問題への対処が不可欠である。出かけっ CAR の運転ボランティアやデジタル支援員など、高齢者を支える人材そのものも高齢化していくため、若年層や現役世代の参加をさらに促し、担い手層を厚くしていくことが課題である。また、多文化共生の取組は、日本語支援を受けた外国人住民が地域活動にどのように参加していくか、継続的なフォローが重要である。

財政的にも、本プランは国の交付金によりスタートしたが、交付期間終了後も事業を継続・拡充していくには自治体単独の予算だけでなく、民間資金の活用や利用者負担の仕組みなども視野に入れる必要がある。

## 関連・参考資料

---

内閣府地方創生推進事務局：藤枝市「生涯現役・いつまでも幸せに暮らし輝くまち藤枝プラン」

[https://www.chisou.go.jp/sousei/about/ccrc/tyubu/222143\\_r6\\_ccrc\\_fujieda.pdf](https://www.chisou.go.jp/sousei/about/ccrc/tyubu/222143_r6_ccrc_fujieda.pdf)

<https://www.chisou.go.jp/tiiki/tiikisaisei/dai63nintei/plan/b273.pdf>

藤枝市：藤枝市民大学

[https://www.city.fujieda.shizuoka.jp/citizens\\_college/index.html](https://www.city.fujieda.shizuoka.jp/citizens_college/index.html)

藤枝市：支え合いの移動支援 ～地域支え合い出かけっ CAR サービス～

[https://www.city.fujieda.shizuoka.jp/soshiki/kenkofukushi/chiikihokatsu/keikaku\\_torikumi/23072.html](https://www.city.fujieda.shizuoka.jp/soshiki/kenkofukushi/chiikihokatsu/keikaku_torikumi/23072.html)

藤枝市：高齢者等外出支援デマンドバス 「ふじえだ足すと号」

<https://www.city.fujieda.shizuoka.jp/soshiki/toshikensetsu/kokyokotsu/gyomu/idoshien/19185.html>

外国人（がいこくじん）のための日本語（にほんご）講座（こうぎ）

<https://www.city.fujieda.shizuoka.jp/soshiki/shiminkyodo/danjokyodo/gyomu/tabunkakyousei/1498811404834.html>

藤枝市：令和5年度 藤枝市行政サービス評価委員会地方創生事業総括表

[https://www.city.fujieda.shizuoka.jp/material/files/group/144/R5\\_shiryou4.pdf](https://www.city.fujieda.shizuoka.jp/material/files/group/144/R5_shiryou4.pdf)